

2025年(令和7年)5月4日(日) 9:00~12:00

日本野鳥の会大阪支部

前田初雄、甲田正二、西脇淳浩、香月清宏、
松井正夫、新名泰博、平 軍二 (☎090-6901-1425)

枚方淀川探鳥会2025年5月

4月の探鳥会、多数の方がお申込みいただいていたのですが、天気予報の雨確率が50%以上のため、前日のうちに中止と決定しました。実際には、朝まで雨が残っていたものの、探鳥会を開始する時間には雨が上がり、探鳥会は実施できる状況でした。ツグミ・シロハラなどの冬鳥の名残、キジ・ホオジロなど枚方淀川で繁殖する鳥の歌声を聞けたはずと思うと、非常に残念でした。今後、天気予報の読みの精度を上げるとともに、前日雨予報でも開催か中止かは、当日集合場所で決める方向にできれば、と思っています。

I 今月の鳥はキジ

①キジ キジ目キジ科 漢字名 雉
学名 *Phasianus versicolor*
英名 Japanese Pheasant

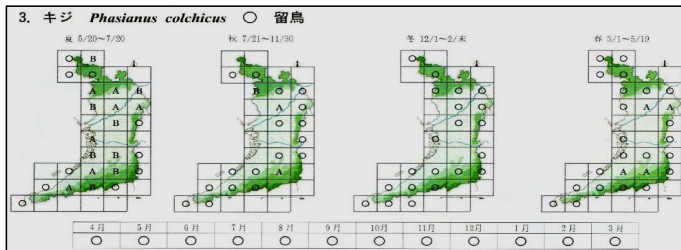
枚方淀川河川敷で4~6月の鳥はキジ、昨年度に探鳥コースのほとんどで樹木伐採が行われたことから、キジの声だけでなく姿が見られるとの思いがあり、今月の鳥としました。

探鳥会リストP-2 No64キジの観察回数が54回と、年5~6回観察していることになりませんが、声だけの月があるので、姿を見るならば繁殖期の4~6月が最適シーズンと思っています。



②大阪府のキジ (大阪府鳥類目録 2016)

↓
下図から、大阪府全体で留鳥として、繁殖している。



③世界でのキジの分布 →

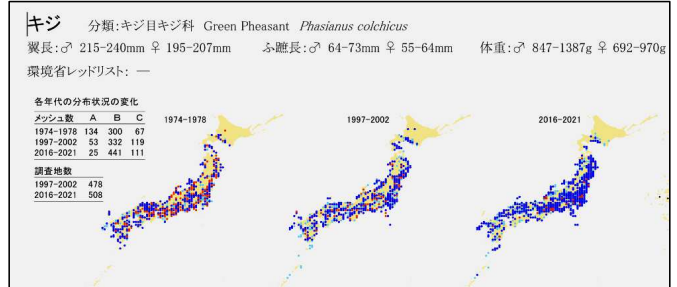
真木・大西(日本の野鳥590)平凡社
日本固有種。日本の国鳥。桃太郎の昔話で親しまれている鳥。
日本では4亜種あり。第8版で人為的に輸入された種として独立種となったタイリクキジ(亜種コウライキジ)を含め、交雑化が進み区別できなくなっているとのこと。



③日本のキジ繁殖地分布 ↓

(鳥類分布調査会 2021年)

本州、四国、九州の林縁や草地、農耕地に生息する。自然分布のほかに北海道や対馬、南西諸島、伊豆諸島にタイリクキジ(亜種コウライキジ)や亜種不明のキジが放鳥され、定着している。
分布は拡大しており、特に北日本や日本海側、標高の高い場所で顕著である。地上性の鳥であるため、積雪の減少が影響している可能性が考えられる。



次ページ観察鳥チェックリストの種名順は、日本鳥類目録改訂8版ベースに→→

日本鳥学会は2024年9月に、鳥類目録改訂8版を発表しました。これを受け、日本野鳥の会大阪支部ではこれまで鳥の集約は改訂7版をベースにしていたが、2025年4月より改訂8版をベースに集約することになりました。

枚方淀川探鳥会の観察鳥チェックリストも、2025年4月より改訂8版ベースに並べ替えて表示することにしました。

表の左側に第7版と第8版の種名順Noを並べましたので、ご確認ください。

これまでキジ科がトップでしたが、カモ科がトップになりましたので、今月の鳥とした「キジ」はカモ科の後に表示されています。

しかも同じカモ科でも順番が違っており、例えばカルガモ(32→32)とマガモ(30→33)の番号が入れ替わっています。遺伝子解析が進んで、枝分かれの年代がより精密に表示されるようになったと思われます。

また、亜種から独立した種になった鳥に、525ツグミ →531ツグミ・532ハチジョウツグミがありますので、枚方淀川探鳥会で観察できると思われることから、ハチジョウツグミw種として入れています。

Ⅱ 探鳥会観察チェックリスト(第8版)

観察回数は、平が担当した2012年1月～先月2024年12月までの13年間での観察回数です。

100回以上は留鳥、50回前後は冬鳥or夏鳥、10回以下は珍鳥？

第7版	第8版	科名	鳥名	観察回数	2024						2025						第8版
					1/7	2/4	3/3	4/7	5/5	6/2	1/3	2/2	3/2	4/4	5/4	6/1	
10	12	カモ	マガン	1				1									12
21	18	カモ	ツクシガモ	3	3	1								雨			18
37	23	カモ	トモエガモ	2							9		天				23
36	24	カモ	シマアジ	1									予				24
34	26	カモ	ハシビロガモ	9							2		無				26
26	27	カモ	オカヨシガモ	52	3	26	38	8			42	18	あ				27
27	28	カモ	ヨシガモ	21	6	11	19	2			5	8	2	り			28
28	29	カモ	ヒドリガモ	48	2			3			3	9	2	中			29
29	30	カモ	アメリカヒドリ	6									止				30
32	32	カモ	カルガモ	97			2	4	7	3	6	16					32
30	33	カモ	マガモ	58		2							1				33
35	34	カモ	オナガガモ	8													34
38	35	カモ	コガモ	62	1						3	12	16				35
42	39	カモ	ホシハジロ	40	48	70	33	2			35	27	4				39
43	40	カモ	アカハジロ	6		1											40
44	41	カモ	メジロガモ	1													41
46	43	カモ	キンクロハジロ	47	114	275	67	31			94	65	24				43
47	44	カモ	スズガモ	7							8	1	1				44
58	56	カモ	ミコアイサ	2	1						1						56
59	58	カモ	カワアイサ	50	15	6					11	5					58
60	59	カモ	ウミアイサ	3													59
5	64	キジ	キジ	54			3	2	3		1						64
192	69	ノマツバメ	ノマツバメ	2													69
185	80	カッコー	ホトギス	2													80
187	82	カッコー	ツツドリ	2													82
188	83	カッコー	カッコー	1													83
74	89	ハト	キジバト	128	3	10	6	4	7	2	5	12	10				89
166	96	クイナ	クイナ	12													96
174	100	クイナ	バン	23													100
175	101	クイナ	オオバン	55	53	122	54	66	8		81	93	112				101
170	103	クイナ	ヒクイナ	1													103
62	117	カイツブリ	カイツブリ	51	1	1		2			4	5	5				117
64	119	カイツブリ	カンムリカイツブリ	64	4	9	2	5	1		29	21	4				119
66	121	カイツブリ	ハジロカイツブリ	4													121
194	127	チドリ	タゲリ	1													127
195	128	チドリ	クリ	21													128
202	134	チドリ	イカルチドリ	9													134
203	135	チドリ	コチドリ	32		1		5									135
204	136	チドリ	シロチドリ	4													136

第7版	第8版	科名	鳥名	観察回数	2024						2025						第8版
					1/7	2/4	3/3	4/7	5/5	6/2	1/3	2/2	3/2	4/4	5/4	6/1	
227	144	シギ	チュウシャクシギ	2													144
251	163	シギ	トウネン	1										雨			163
266	165	シギ	ハマシギ	1									天				165
219	183	シギ	タシギ	5	1								予				183
244	188	シギ	イソシギ	89	2	3	1	1	1		1	1	2	紙			188
239	190	シギ	クサシギ	3										あ			190
241	192	シギ	キアシシギ	2					4					り			192
235	198	シギ	アオアシシギ	1										中			198
286	213	カモメ	ユリカモメ	22								2		止			213
293	221	カモメ	ウミネコ	3													221
294	222	カモメ	カモメ	3													222
299	226	カモメ	セグロカモメ	20		1					2	2					226
307	233	カモメ	コアシサシ	9													233
83	270	アビ	シロエリオオハム	1													270
127	315	ウ	カワウ	199	9	16	6	3	11	5	14	13	23				315
153	319	トキ	ヘラサギ	1							1	3	1				319
154	320	トキ	クロツラヘラサギ	1													320
139	328	サギ	ゴイサギ	10													328
141	330	サギ	ササゴイ	18					2	1							330
143	332	サギ	アマサギ	3						3							332
144	333	サギ	アオサギ	124	4	2	10	4	1	1	3	2	1				333
146	335	サギ	ダイサギ	120	2	3	3	2	1	6	2	2					335
148	337	サギ	コサギ	111	3	4	1	2	1	3	3	3	1				337
339	343	ミリゴ	ミリゴ	75	1	2	2	1	1	1	2	3	2				343
340	344	タカ	ハチクマ	2													344
355	353	タカ	ハイタカ	36	1	2					1	1					353
356	354	タカ	オオタカ	27		1	1				1	2					354
349	355	タカ	チュウヒ	2		1											355
350	356	タカ	ハイロチュウヒ	1	1												356
342	359	タカ	トビ	102	2	2	1	3	3	2	2	3					359
351	363	タカ	サシバ	1													363
358	366	タカ	ノスリ	37	1	1					2						366
366	371	フクロウ	オオコノハズク	1													371
383	384	カワセミ	カワセミ	106	1		1		3	1	1	2					384
388	389	キツツキ	アリスイ	10													389
390	390	キツツキ	コガラ	102	2	3		1	1	1	3	1					390
393	394	キツツキ	アカガラ	6													394
401	402	ハヤブサ	チョウゲンボウ	57	1		1	2									402
407	407	ハヤブサ	ハヤブサ	31	1		2		1	1	2	2	1				407

日本鳥学会による「日本鳥類目録」改定の経緯

改訂第6版(2000年) 鳥の分類が戦前からの形態(体の構造や外見の特徴)で分類

改訂第7版(2012年) 遺伝子解析の結果を初めて取り入れた(大幅な変更)

改訂第8版(2024年) 更に詳細な遺伝子情報を取り込んだ(種の順番に変更が多い)

↓これから図鑑をと思われている方、第8版ベースかどうか確認の上、ご購入下さい

第7版	第8版	科名	鳥名	観察回数	2024						2025						第8版
					1/7	2/4	3/3	4/7	5/3	6/2	1/3	2/2	3/2	4/6	5/4	6/1	
412	411	サンショウクイ	サンショウクイ	1													411
418	419	カササギヒタキ	サンコウチヨウ	1										雨			419
420	425	モズ	モズ	114	7	6	3	6	1	2	4	6	4	天			425
435	435	カラス	ハシボソガラス	125	11	17	14	7	12	8	23	9	28	予			435
436	436	カラス	ハシボソガラス	116	3	4		3	2	5	3	3	報				436
443	440	シジュウカラ	ヒガラ	1										あ			440
442	442	シジュウカラ	ヤマガラ	7										り			442
445	447	シジュウカラ	シジュウカラ	116	7	4	6	12	5	2	4	2	4	中			447
439	448	ツリスガラ	ツリスガラ	1										止			448
452	450	ヒバリ	ヒバリ	68							1						450
463	456	ヒヨドリ	ヒヨドリ	126	153	120	32	74	36	10	320	220	300				456
455	458	ツバメ	ショウドウツバメ	6													458
457	461	ツバメ	ツバメ	64				11	18	20							461
461	462	ツバメ	イフツバメ	54	100		30	1	60	3	30	50	30				462
459	463	ツバメ	コシアカツバメ	23													463
464	464	ウグイス	ウグイス	119	6	4	4	10	16	5	4	2	7				464
466	467	エナガ	エナガ	93	5	9	6	3			6	4	1				467
480	476	ムシクイ	センダイムシクイ	7													476
479	479	ムシクイ	エゾクシクイ	1													479
477	481	ムシクイ	メボソムシクイ	5													481
476	482	ムシクイ	オオムシクイ	5													482
492	484	ヨシキリ	オオヨシキリ	33				3	8								484
499	497	セッカ	セッカ	32				8	1								497
483	501	メジロ	メジロ	103	8	3	4	7	2	6	30	4	3				501
438	502	キクイタダキ	キクイタダキ	8													502
506	507	ムクドリ	ムクドリ	113	13	35	2	33	14	76	35	107	150				507
508	509	ムクドリ	コムクドリ	5													509
511	512	ムクドリ	ホシムクドリ	2													512
520	525	ツグミ	マミチャジナイ	1													525
521	526	ツグミ	シロハラ	54	2	1					5	7	3				526
522	527	ツグミ	アカハラ	2													527
525	531	ツグミ	ツグミ	60	4	27	30	11			1	33	14				531
525	532	ツグミ	ハデジョウツグミ														532
552	533	ヒタキ	エゾビタキ	9													533
553	534	ヒタキ	ササビタキ	2													534
554	537	ヒタキ	コササビタキ	18													537
561	539	ヒタキ	オオルリ	4													539
533	543	ヒタキ	ノゴマ	1													543

第7版	第8版	科名	鳥名	観察回数	2024						2025						第8版
					1/7	2/4	3/3	4/7	5/3	6/2	1/5	2/2	3/2	4/6	5/4	6/1	
558	550	ヒタキ	キビタキ	16													550
560	554	ヒタキ	オジロビタキ	1										雨			554
536	556	ヒタキ	ルビタキ	1										天			556
540	561	ヒタキ	ジョウビタキ	60	1	2	2				4	6	6	予			561
549	564	ヒタキ	インコドリ	39		1	1						3	報			564
542	568	ヒタキ	ビタキ	13										あ			568
569	575	スズメ	スズメ	125	26	33	24	25	24	10	130	130	62	り			575
573	584	セキレイ	キセキレイ	42	1	2	1				1	1	1	中			584
574	585	セキレイ	ハクセキレイ	116	8	14	8	4	1	6	21	6	14	止			585
575	586	セキレイ	セグロセキレイ	109	2	2	2		1		2	1	1				586
584	595	セキレイ	タヒバリ	35	2	6	25	2					20				595
586	597	アトリ	アトリ	29							12	30	14				597
600	598	アトリ	シメ	42		1											598
602	600	アトリ	イカル	17							5		10				600
592	606	アトリ	ベニマシコ	44							3						606
587	608	アトリ	カワラセウ	114	35	31	36	11	4	14	17	18	43				608
588	613	アトリ	マヒワ	6													613
610	618	ホオジロ	ホオジロ	119		8	2	6	11	10	4	6	10				618
614	622	ホオジロ	ホオアカ	6													622
617	625	ホオジロ	カシラダカ	23													625
618	626	ホオジロ	ミヤマホオジロ	1													626
624	633	ホオジロ	アオジ	70	6	12	9	4			6	12	13				633
628	637	ホオジロ	オオジュリン	17													637
	9	キジ	コジュケイ	13													9
	11	ハト	カラハバト(ドバト)	121	23	130	56	14	13	17	100	60					11
	30	ムクドリ	ハッカチョウ	1													30
			カクコウSP	5													
			アイガモ	3													
			メボソムシクイSP	7					1								
			ヒタキSP	3													
種数合計(自動計算)					49	48	41	39	36	33	53	52	47				
個体数合計(自動計算)					109	1047	548	383	290	239	1147	1199	1347				
探鳥会参加者数					24	17	27	24	32	26	26	24	30				
13年間観察回数		1~2回			2017年1月~2024年12月の13年間で ①観察回数の少ない種(1~2回) ②観察回数多い種(100回以上) ③樹林俊の影響を受けるとされる種 に区分して表示した。												
		100回以上															
樹林俊探鳥影響でなくなる種																	

Ⅲ 次回は6月1日(日)

午前9時 ラポールひらかた前

今日と同じように、大阪支部HPからホームズ様式からお申し込みください。

枚方淀川河川敷は夏鳥の歌声が響いていると思います。夏鳥のオオヨシキリ、留鳥のホオジロ・ウグイスなどを確認したいと思っています。



オオヨシキリ(20220605)幅 良三氏

Ⅳ 先々月(3月2日)探鳥会報告

写真4枚とも(西脇淳浩さん)



ハヤブサ



ヘラサギ



ハイタカ



残っていた樹林にアトリの群

右記、3月の鳥の観察状況を読んでもと、3月は冬鳥中心だったのに、2か月間でこんなに変わるのかと、びっくりします。

1月・2月に続いて関医タワーに止まっていたハヤブサを見てスタートとなった。淀川河川敷は霧雨で視界がぼんやりしていたが、ムクドリ群がセンダンの実を求め群で飛び回り、ツグミも木々の樹上や草原に、石の上ではイソヒヨドリがポーズしてくれた。淀川本流にはオオバン・キンクロハジロが多く、河川中央の砂地(中の島)にカワウの群、1月から観察されているヘラサギが1羽のみ残っていたが、胸が黄金色の繁殖羽へ変化していた。

淀川河川公園枚方地区「多自然池」周辺は、樹木が伐採されたことで開園当初の風景となっていたが、そこへハイタカが飛んできて、残っていた木に止まったので、全員がゆっくり観察できた。ヨシ原からウグイスの法華経が聞こえ、アオジ・ホオジロ・モズなども出た。黒田川合流点周辺に残されていた樹林でアトリの群、川にはイソシギも観察できた。

「野鳥通り」と呼ばれていた樹林は鳥の止まり木として50m毎に残された木を除いて全伐されているが、止まり木にはカワラヒワ・スズメ・ムクドリなどが休んでいた。更に「オオタカの森」にオオタカが飛んできて木に止まり、ここで営巣?かと期待を持たせたが、すぐに飛び去ってしまった。

磯島グラウンドで20羽のタヒバリを見て、雨がやや強くなったこともあり終了とした。雨で見通し良くないこともあり観察種数は47種にとどまったが、ハイタカ・オオタカが観察できたことで、満足して終えることができた。

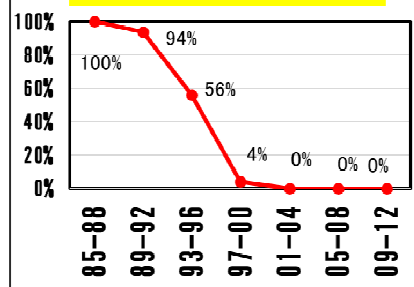
V 万博公園の樹林変化とキジ

①万博公園のキジの観察頻度

万博公園探鳥会を始めたのが1985年2月、今から40年前でした。その頃万博公園はキジの天国、繁殖期の5月探鳥会で開始～終了までキジの声をカウントし、50回も聞いたことがありました。それが、探鳥会では1998年5月以降観察したことは無く、2012年4月19日春の渡り調査中に、廣瀬達也氏が確認(右写真)されたのが、万博公園最後のキジの姿です。



キジ観察頻度(万博公園探鳥会)



観察頻度 = 観察回数 / 探鳥会回数

②万博公園の航空写真

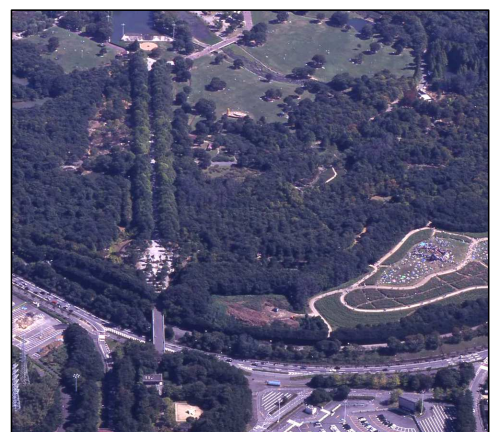
右2枚の航空写真は2005年の頃、当時の万博公園事務所より、使用許可をいただいたものです。右写真の撮影年1992年にやや疑問がありますが、2000年より前であることは間違いありません。この2枚の写真から、万博公園にキジのなくなった理由がよくわかります。

枚方淀川河川敷では樹木が伐られたので、キジがよく観察できるのでないかと期待しています。



↑ (1981年)
田植えをしたばかりの田んぼのように、植えられた木の1本1本がわかります。木が小さいため、木々の間は草はらとなり、キジの天国でした。

4/4



↑ (1992年?)
木々が生長し、キジの好む草はらが無くなっています。